

令和4年度 第2回スマートシティモデル事業等推進有識者委員会 議事概要

日 時：令和5年2月21日(火) 16:00～18:00

場 所：国土交通省6階局議室(Web併用)

※資料に基づき説明がなされた後、下記の意見交換がなされた。

○意見交換

【スマートシティサービスの連携ユースケース（案）について】

- スマートシティは縦割りをこわしてデジタル化を進めるツールであり、限られた予算でまち全体のQoLを上げる手法として有効であるため、目的に対して、デジタルがどのように使えるかを意識してほしい。
- 関連するサービスを組み合わせたらこういうことができるということがよく分かった。また、実装の体制・持続可能な費用負担体制等を整理できるとより活用可能となる。
- 更に、コスト（初期投資・ランニングコスト）や効果が記載されていると、より参考になると考えている。
- 分野間連携にあたり、企画や財政系の部署では横串がさしやすいという傾向もあるため、取組の推進をどのような部署でやっているかも重要な視点である。
- 組織・制度の壁を越えた事例やその障壁の原因を関係省庁で分析し、結果を共有することで、分野間連携・都市間連携への道すじを示すべき。関係省庁で連携して議論を進めてほしい。
- 先進都市の苦労や制度上の課題から、ポイントを抽出し、他都市に情報提供すると参考になる。
- 分野間連携・都市間連携を進めるパターンがいくつかあるため、今後そのパターンごとに展開の姿を示すといい。例えば、①観光活性化などひとつの目的があり連携させる、②特定のデータ取得の技術があり、データがあるから他分野に使用ができる、③特定の技術・サービスがあり効率的に他都市に展開する、などのパターンが考えられる。

【令和5年度の都市局におけるスマートシティ推進に向けた取組み（案）について】

- デジタル・スマート化でエリマネが果たす役割は大きい。エリマネへの期待が大きい分、デジタル推進の体制整備などエリマネ団体の負担が大きくなりすぎないように、注意してほしい。

以上